

# ヘール・ボップ彗星

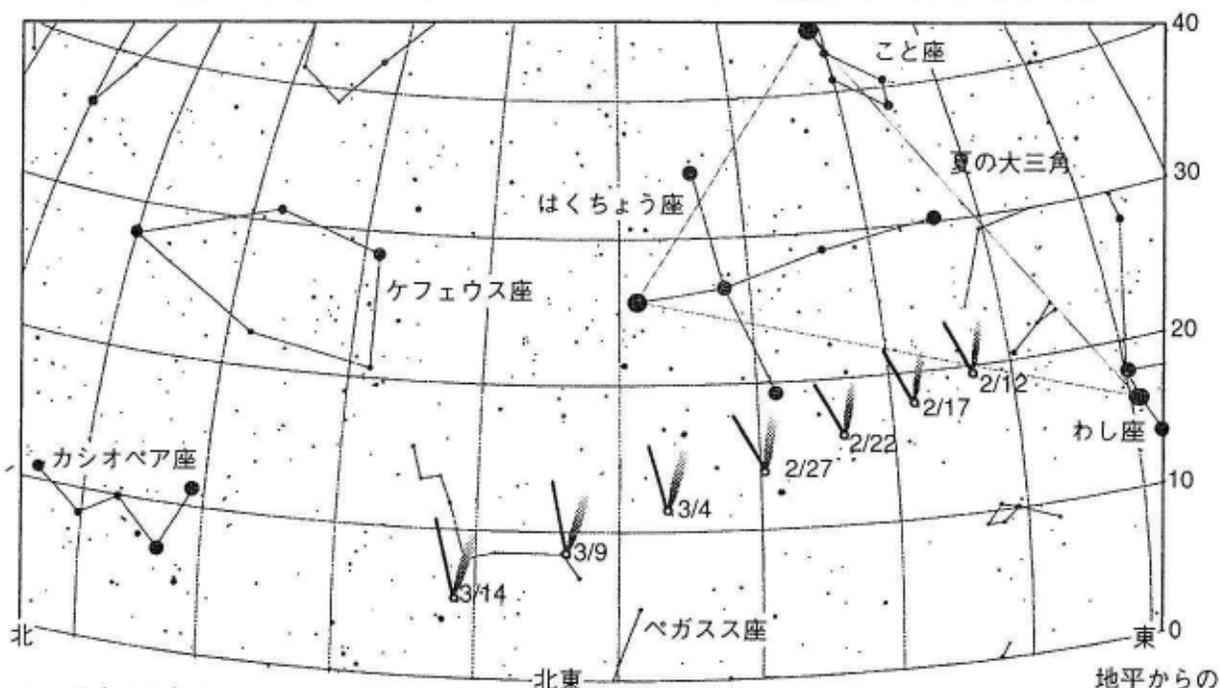
去年の春、長い尾を見せた百武（ひゃくたけ）彗星をおぼえていますか。発見からわずか2カ月余りで去っていった大彗星の感動もさめやらぬうちに、また新たな彗星が地球に近づいています。アメリカのアラン・ヘール、トマス・ボップの二人が見つけた、ヘール・ボップ彗星と名付けられたこの彗星は、1995年の夏に発見されました。その時はなかなかたの木星よりも遠い位置から太陽に向かっていたこの彗星は、それほど遠くで明るく見えていたために、大彗星ではないかと期待されてきました。実際に太陽に近づくにつれて順調に明るくなり、去年の夏には早くも双眼鏡で確認できるほどになっていました。

いよいよこのヘール・ボップ彗星が地球に最も近い位置にやってきます。

## ・いつ、どこに見える？

- ・2月～3月中旬：明け方の北東の空に見えています。見ごろは高度の高い3月上旬です。
- ・3月中旬～25日：高度が低いうえ月明かりもあり、やや観察しにくい時期です。
- ・3月26日～4月中旬：夕方の北西の空に見えます。4月1日に太陽に最接近し、もっとも明るくなる時期で、好機は4月上旬です。
- ・4月下旬～5月上旬：夕方の西の空に見えますが、高さが次第に低くなり、見にくくなるでしょう。

## ・夜明け前に北東の空に見えるヘール・ボップ彗星（3月中旬まで）

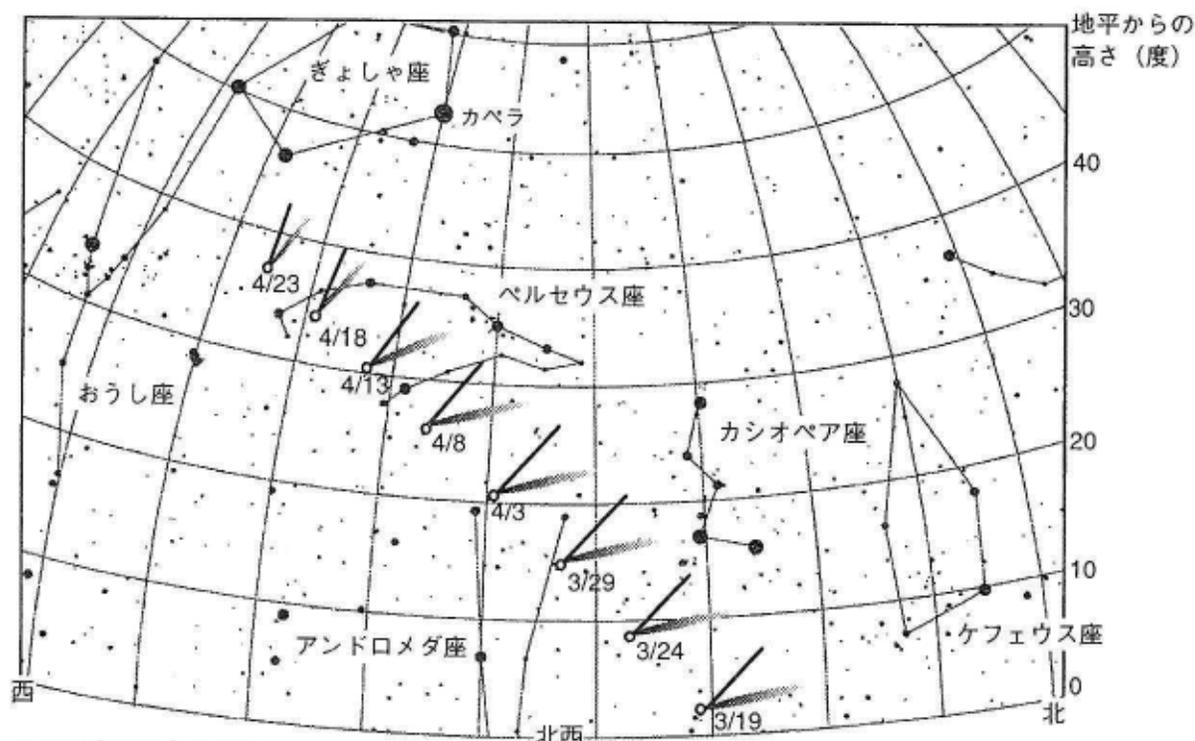


この星空が見えるのは

2月中旬：午前5時頃、2月下旬：午前4時半頃、3月上旬：午前4時頃、3月中旬：午前3時半頃

地平からの  
高さ(度)

・日が沈んだあとに北西の空に見えるハールボップ彗星（3月下旬から）



この星空が見えるのは

3月中旬：午後8時半頃、3月下旬：午後8時頃、4月上旬：午後7時半頃、4月中旬：午後7時頃  
(日がたつにつれ日没時の高度は低くなります)

・どのくらい明るく見える？

昨年の百武彗星は地球に非常に近づいたため、とても長い尾が見られました。一番近づいた時には、太陽と地球との距離のおよそ10分の1にまで接近したのです。ハール・ボップ彗星は最も地球に近づく時でも太陽よりも速くなるため、百武彗星ほどの長い尾は見えないでしょうが、空の暗いところでなら美しい姿を見ることができるでしょう。

彗星は「よごれた雪だるま」とたとえられます。太陽に近づくとつれ彗星本体の氷は蒸発し、ガスやチリを放出して、尾をかたち作ります。彗星がどれくらい明るくなるかは、放出されるガスの量によるのですが、この予測はなかなか難しく、はっきりは分かりません。最も明るいときには1等星より明るくなると予想されていますが、実際はどれくらいになるのか、ぜひ皆さんが自分で確認してみてください。出来れば双眼鏡などで見た方がみごとな姿を楽しむことができるでしょう。

おそらく今世紀最後の大彗星です。お見逃さないように。(岩田 生)



富山市科学文化センター

〒939富山市西中野町1-8-31 TEL(0764)91-2123

平成9年2月1日